令和９年度　大学院連合教職実践研究科入学者選抜（１０月選抜）

教科研究開発高度化系
人間発達探究コース　人間発達探究プログラム
専門科目：プログラム別問題

【出題の意図】

解答の形式：教育学分野、心理学分野、幼児教育分野、特別支援教育分野から１分野を選択し、選択した分野の全ての問題に解答する（配点：問１，問２とも各 50 点）。

［教育学分野］

問１　本設問の出題意図は、現代の学校教育における最重要の変革の一つである「GIGA スクール構想」について、その表層的な理解に留まらず、本質的な意義を捉えているかを測ることにある。

まず、「デジタル学習基盤」という言葉を、単なる「1 人 1 台端末と高速ネットワーク」といったハードウェアの側面だけでなく、クラウド環境（学習支援ツールや校務支援システム等）や、それらを活用するための人材育成といった、構造的なシステムとして理解しているかを問う。

その上で、この基盤が整備されたことによって、従来の授業がどう変わり得るのか、また変えていくべきなのかを「授業デザイン」の観点から論述する力を測る。ここでは、例えば「個別最適な学び」や「協働的な学び」、「主体的・対話的で深い学び」といった、新学習指導要領が目指す理念の実現に、デジタル学習基盤がどのように貢献するのか、具体的な授業場面を想定しながら、テクノロジーと教育実践とを結びつけて考察する力が求められる。

教職を志す者として、現代的な教育課題に関する的確な知識と、それを自らの実践へと接続し、未来の教育を構想しようとする主体的な思考力を持ち合わせているか、その適性を判断する。

問２　最近の日本の学校教育では、資質・能力にもとづく教育課程改革が進んでいる。資質・能力にもとづく教育課程とは、国際的な教育改革の潮流になっているとも指摘されるコンピテンシー・ベースのカリキュラムと関連する一方、ともすればコンテンツ・ベースのカリキュラムと対比的にとらえられる傾向がある。

本設問では、こうした新しい教育改革の動向に関する概念の理解を問うとともに、自分なりにその意義と課題を考察して論述する力を測る。

［心理学分野］

問１　効果的な学級運営を行うためには、子ども自身や子どもをとりまく環境などの多様な要因から子どもの行動について理解することが重要である。本設問では、関連する心理学の枠組みである行動主義を取り上げ、学級運営との結びつきに関する考えを記述させることで、入学および入学後の学修に関する適性を判断する。

問２　学校教育においては児童生徒を取り巻く人的環境の影響を理解することが重要であり、特に周囲の仲間の影響は重要な視点となる。本設問では、児童生徒に対する周囲の仲間からの影響

に関する心理学の用語を挙げさせ、それに関する知識、理解およびその学校教育への示唆についての考え方を記述させることで、入学および入学後の学修に関する適性を判断する。

［幼児教育分野］

問１　幼稚園教育における評価とは、幼児一人一人のよさや可能性を把握する幼児理解を進め、教師の指導が適切であったかどうかを把握し、指導の改善に生かすようにすることを基本としている。その際、他の教師との話し合い、記録やエピソード、写真などを用いて、多面的に幼児を捉える工夫をし、評価の妥当性や信頼性が高められるよう創意工夫することが求められる。留意する点としては、他の幼児との比較や一定の基準また活動の達成度によって幼児を評価や評定するものではないこと、幼児理解の内容や発達の状況について日ごろから保護者に伝え連携すること、幼児理解に基づいた評価の内容が次年度に適切に引き継がれるよう幼児の指導要録を作成し、修了時には小学校に送付しなければならないこと等が挙げられる。

以上のような幼稚園教育における評価の考え方及び留意点について記述させることで、幼児教育に関する基本的な考え方を確認し、入学および入学後の学修に関する適性を判断する。

問２　保育内容領域「人間関係」は、他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て人と関わる力を養う領域とされる。幼児期は、自己が明確になるだけでなく、他者の存在に気付いていく時期である。共同の遊具や用具があることで、幼児はいざこざや葛藤などを経験し、こうした経験を通して、相手の気持ちに気付いて譲ったり、交替や順番で使う必要に気付いたりしていくことが期待される。また、物への愛着が育つことは、物を大切にする規範意識の育ちにも関わっている。そのため教師は、一方的に順番を指示したり、固定的なルールを教えたりする安易なやり方ではなく、友達と折り合いをつけることが次第にできるよう援助すること、遊具や用具を使って十分に遊ぶ楽しさを味わえるようにすることに留意する必要がある。

以上のような保育内容への理解と指導上の留意点について、具体的な場面を挙げて記述させることで、幼児教育に関する基本的な考え方を確認し、入学及び入学後の学修に関する適性を判断する。

［特別支援教育分野］

問１　自閉スペクトラム症の診断基準である、対人社会性、コミュニケーション、こだわり、感覚過敏/鈍麻について言及し、これらが機能しないことで学校生活において支障が生じる場面の具体例をあげながら支援方法を提案できることを求めている。以上のことを通して特別支援教育に関する基本的な考え方を確認し、入学および入学後の学修に関する適性を判断する。

問２　ウェクスラーの知能観は「目的的に行動し、合理的に思考し、効率的に環境を処理する個人の全体的能力」として知られている。 例えば、美術や音楽などの創造性やパーソナリティー、社会性といった要素は含まれていない。むしろ、速く・正確に無駄なく情報を処理していくという側面が評価される（検査内で、回答時間によって割り増し点が設定されているのはこの速く・正確にという点が反映されている）。 以上のような定義に基づいて推察される「知能」の捉え方を理解しているかを問い、入学および入学後の学修に関する適性を判断する。